

# 令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名	此花
学校名	春日出小学校
学校長名	杉本 善幸

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査内容

### (1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

### (2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

## 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・春日出小学校では、第6学年47名

## 令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語科、算数科いずれの教科についても平均正答率が全国、大阪市を上回った。国語科においては全国平均と比べて3.2ポイント上回り、大阪市平均と比べると4ポイント上回った。  
算数科においては、全国平均は同率で、大阪市平均と比べると2ポイント上回った。  
理科においては、全国平均と比べると2ポイント下回り、大阪市平均とは同率であった。

## 分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

[国語] 領域では、「書くこと」が全国平均 (+6.4) や大阪市平均 (+9.2) と大きく上回っており、「目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうか」に成果が見られた。

[算数] 領域では、「数と計算」で全国平均 (+2.3)、大阪市平均 (+1.9) と上回り、特に「数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えることができるかどうか」について成果が見られた。一方、「変化と関係」の領域は全国平均 (-0.1)、大阪市平均 (-0.8) で少し課題が見られた。

[理科] 「エネルギー」を柱とする領域では、特に、「電気の回路のつくり方について、実験の方法を発想し、表現すること」に課題が見られた。

質問調査より

- 「あなたの学級では、学校生活をよりよくしていくために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」の質問において、肯定的な回答をした児童の割合が全国・大阪市平均を上回っている。 (+2.4・+2.7)
- 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気付いたりすることができますか」の質問において肯定的な回答した児童は77.6%で、全国・大阪市の割合より低い。 (-7.3・-4.5)
- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の質問において、肯定的な回答した児童は95.9%と高い結果である。

## 今後の取組(アクションプラン)

- 「話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうか」については、国語科の学習のみならず、他教科においてもその機会が多い。必要な情報を集めたり、それを発表したりする活動を取り入れた指導の工夫をする。
- 言語活動の充実を図り、学び合う活動を通して、話し手の意図を捉え、話す力と聞く力を育てる。
- ICTを活用し、児童が実感を伴いながら理解を深められるような学習活動を展開する。

# 【 全体の概要 】

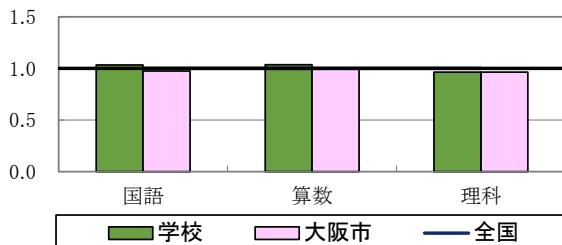
## 平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	69	60	55
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1

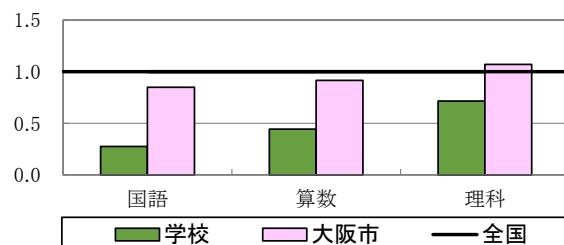
## 平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	0.9	1.6	2.0
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



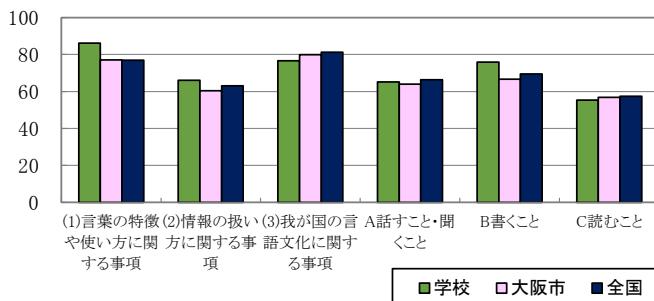
## 【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	2	86.2	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に関する事項	1	66.0	60.4	63.1
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	76.6	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	65.2	64.0	66.3
B 書くこと	3	75.9	66.7	69.5
C 読むこと	4	55.3	56.9	57.5

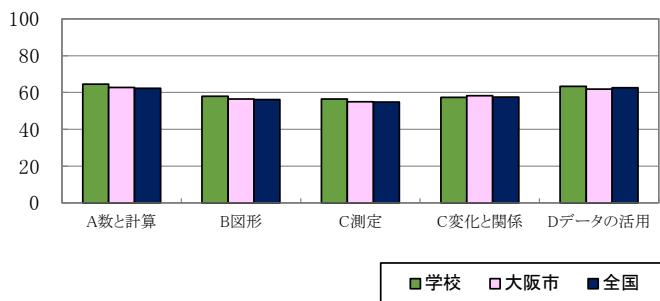
## 【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	64.6	62.7	62.3
B 図形	4	58.0	56.4	56.2
C 測定	2	56.4	54.9	54.8
C 変化と関係	3	57.4	58.2	57.5
D データの活用	5	63.4	61.9	62.6

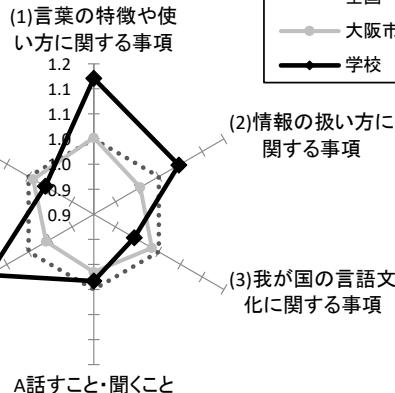
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



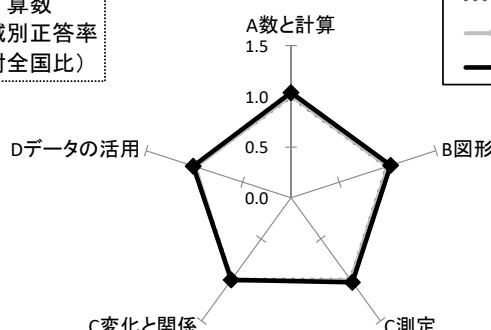
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語  
内容別正答率  
(対全国比)

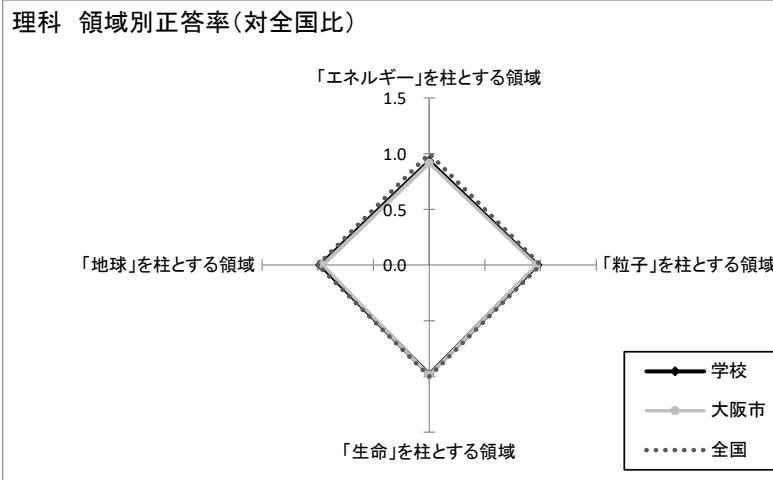
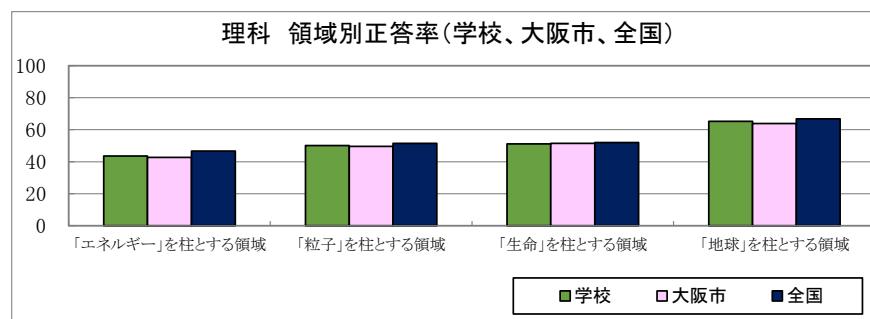


算数  
領域別正答率  
(対全国比)



## 【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
A 区 分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	43.6	42.7	46.7
	「粒子」を 柱とする領域	6	50.0	49.5	51.4
B 区 分	「生命」を 柱とする領域	4	51.1	51.4	52.0
	「地球」を 柱とする領域	6	65.2	63.8	66.7



## 児童質問より

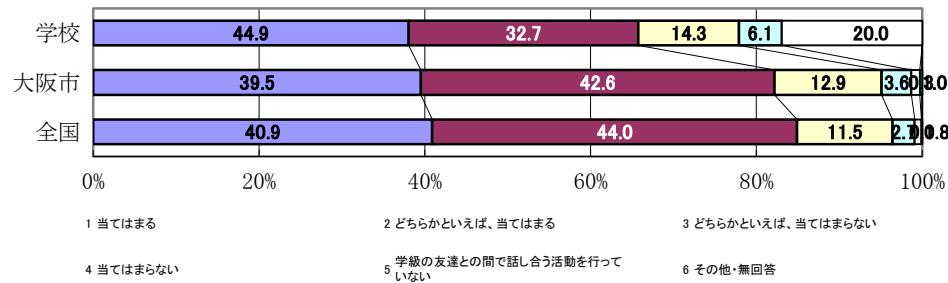
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

### 質問番号

### 質問事項

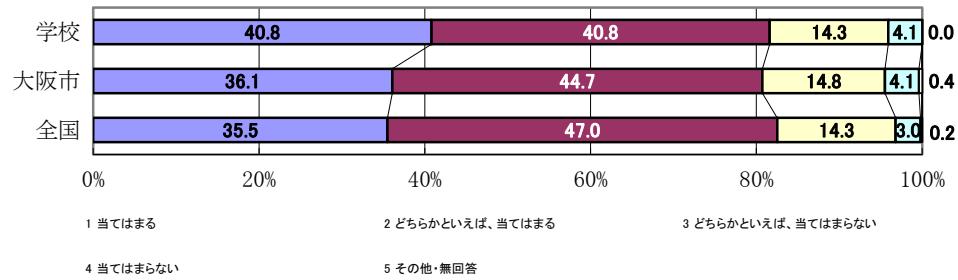
35

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気付いたりすることができますか。



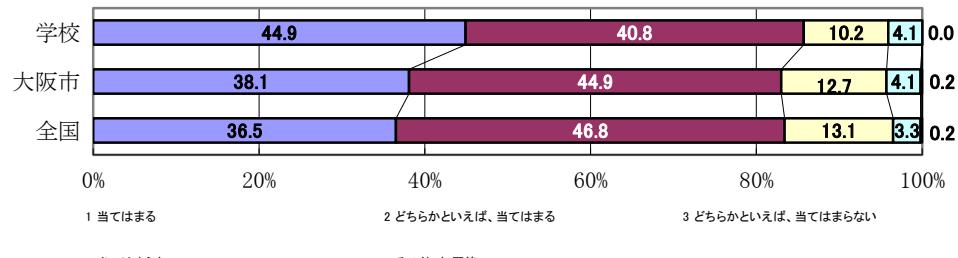
37

授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか。



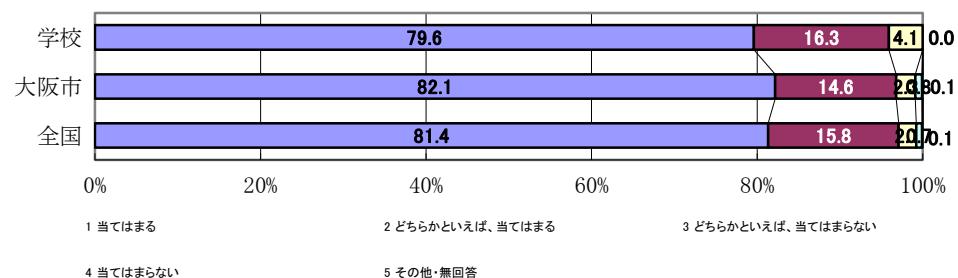
41

あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。



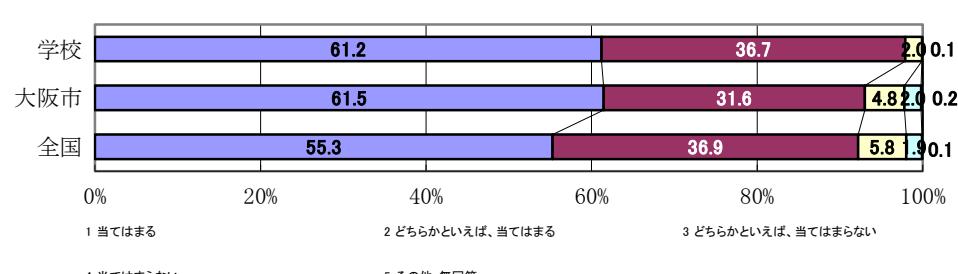
9

いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか



6

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



## 学校質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

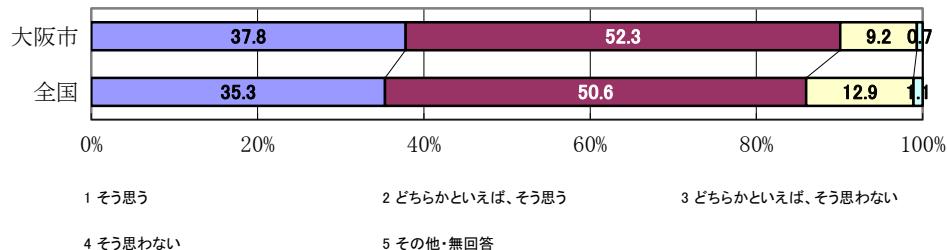
### 質問番号

### 質問事項

8

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

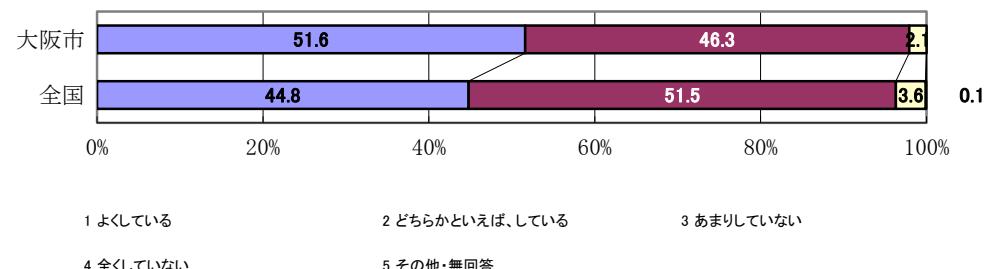
#### 学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



17

言語活動について、国語科を要としつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか

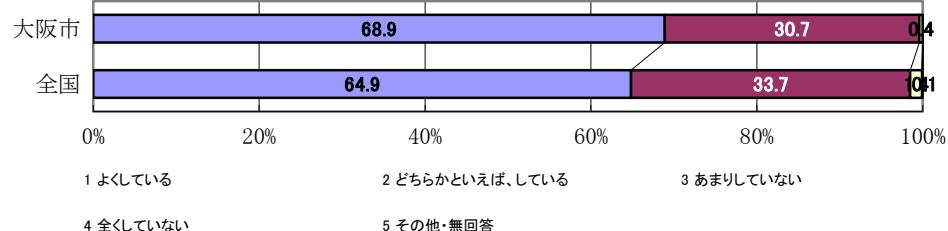
#### 学校 「どちらかといえば、している」を選択



18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

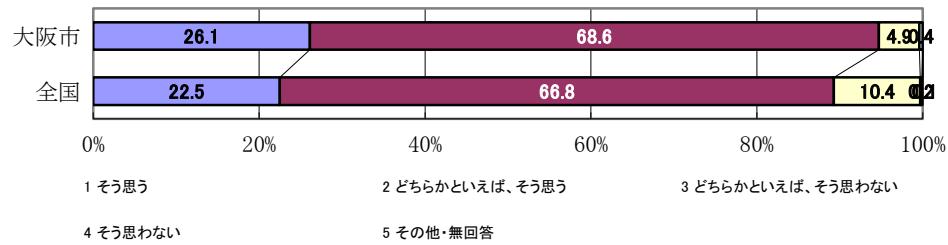
#### 学校 「よくしている」を選択



25

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

#### 学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



27

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

#### 学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択

